

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成23年9月22日

施設名	高知県立牧野植物園	所管課	環境共生課
-----	-----------	-----	-------

1 施設の概要

指定管理者名	財団法人高知県牧野記念財団	指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日
施設所在地	高知市五台山4200-6		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・植物園の設置の目的※を達成するための事業の企画及び運営に関する業務 ・植物園の利用の許可、撮影の許可、許可の取消し等に関する業務 ・植物園の利用料金の収受、減免、還付その他の利用料金の徴収に関する業務 ・植物園の施設、設備等の維持管理に関する業務 <p>※『牧野富太郎博士の偉業を顕彰し、植物研究を通じて、教育文化の向上及び産業振興に寄与するとともに、土佐寒蘭の保護及び知識の普及を図り、県民に対し、憩いの場を提供するため』 (高知県立牧野植物園の設置及び管理に関する条例第1条)</p>		
施設内容	<p>○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など</p> <p><植物園面積> 約17.8ha (うち6haを利用に供用)、駐車場(普通車など195台、バスなど8台)</p> <p><主要施設> 牧野富太郎記念館(本館、展示館)、回廊、温室、資源植物研究センター、 土佐寒蘭センター、学習館、長江圃場、レストラン、ショップ、カフェなど</p> <p><開園時間> 午前9時～午後5時</p> <p><休園日> 12月27日～1月1日</p> <p><主な料金></p> <p>入園料/一般700円(高校生以下無料)、団体600円(20名以上)、年間入園券2,800円、高知県長寿手帳保持者等は無料</p> <p>施設利用料(1時間当たり)/映像ホール1,400～1,800円、アトリエ実習室500～600円など</p> <p>撮影料/業として行う写真の撮影:撮影者1人当たり日額1,800円、業として行う映画の撮影:撮影機1台当たり1時間3,600円</p>		
職員体制	<p>常勤職員: 10人 非常勤職員: 44人</p> <p>合計: 54人</p>		

2 収支の状況

単位:千円

		21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(予算)
収入	県支出金	256,433	240,016	283,738
	使用料・手数料	39,001	80,434	72,695
	その他			
	収入計 (a)	295,434	320,450	356,433
支出	事業費	35,667	23,229	65,480
	管理運営費	101,481	119,547	120,487
	人件費	165,972	181,515	170,466
	その他			
	支出計 (b)	303,120	324,291	356,433

3 利用状況

	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	129,248	199,190	200,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般の来園者については、窓口や各展示会場にアンケートボックスやノートを置いているほか、講演会やイベント・講習会の際にもアンケートを行い、利用者ニーズの把握に努めている。 ・頂いたご意見やアンケート結果については、取りまとめを行い、園内で回覧後、対応を話し合いにより決めている。 <p>○ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内案内は来客の要望・対象に応じ、職員による対応を実施。また案内サインについては、きめ細かい対応を実施。利用案内については、窓口で口頭での説明とパンフレットの配布を実施、施設利用については、事前申し込み時に口頭で説明した上で利用時の案内文を送付してお客様対応を図った。 ・ご協力いただいたボランティアの方にも、ご意見を頂き、今後の管理運営に生かすことができるよう努めている。 ・来園者からの意見・要望とそれに対する園の対応を掲示する等、来園者にフィードバックするシステムの構築が望まれる。 		
③その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ・温室リニューアルイベントを始め、「龍馬であい博」関連イベント、終盤には「龍馬ふるさと博関連イベント 五台山花絵巻 和蘭の春」を展開し、199,190人と年間入館者数目標の20万人をほぼ達成した。また、有料入園者の割合も6割に達し、幅広い年齢層の来園いただける植物園として評価が定着してきている。 		

4 平成22年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	法令順守、利用料金の徴収に関する業務、施設の利用及び撮影の許可に関する業務、施設管理、危機管理体制の確立、情報管理などについて、公の施設として適正な管理運営が行われていると認められる。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌(紙)等の作成・配布のほか、報道機関・情報雑誌等を活用し、植物園の情報提供、広報、広告を効果的に行っている。また、園内掲示板やホームページにおいて開花情報を定期的に提供する一方、iPhoneを活用した園内案内のアプリケーションの開発に着手し、来園者への情報提供の充実を図ろうとしている。 ・県観光の「花」のテーマの中核施設として、新温室や50年記念庭園を使った国際色豊かなフラワーショーや牧野博士や植物研究の成果に関する特別展・企画展を年間を通じて開催し、県内外からの来園者から好評を得、50周年記念イベント「五台山花絵巻 壺之巻」に次ぐ入園者数となった。 ・植物教室や体験教室をはじめ、植物園を児童生徒の総合学習の場として活用するなど、子どもから一般の方まで幅広い年齢層に対して充実した普及教育活動を行っている。 ・これらの活動により入園者数の増加に結び付けることに成功しており、高く評価できる。
③事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・研究部門において、国内外の植物探査や大学・県の研究機関・企業等との共同研究等に加え、研究成果を地域振興につなげるため県の農業振興部と連携して精力的に取り組んでおり、研究型植物園としての機能強化が進んでいる。 ・北園の「土佐の植物生態園」や50周年記念庭園などの園地管理、長江圃場における植物の栽培・保存増殖作業などに加え、採集した標本資料の適切な保管・管理が行われており、植物管理についても熱心な取り組みが続けられている。 ・県内の希少野生植物の保護についても、県から委託を受けニホンジカの食害防止などにも取り組んでいる。

項 目	状 況 説 明
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用料金収入について、温室のリニューアルによる入園料の改定もあり、平成18年度の指定管理者制度導入以来、最高の79,063千円となった。また、施設許可件数212件（前年度179件）、写真等撮影許可件数321件（前年度263件）と、ともに順調に増加している。 ・ 研究部門における外部資金の導入は、国の財政状況、経済情勢の厳しさにより減少したが、これまでの研究成果をもとに、研究機関や企業との一層の連携を図る一方、経費節減への努力を引き続き行っており、成果が上がっている。 ・ 新温室等、管理エリアの拡大による管理費用の増加への対応について外部委託の導入やボランティアの協力を得る等の工夫が課題となると思われる。
総合評価	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">A</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 温室リニューアルオープンと「龍馬であい博」関連イベントを展開することで、来園者数20万人の目標をほぼ達成したことは評価できる。また、職員の努力によってオランダウェストラント市との協力のもと開催した「五台山花絵巻 式之巻 和蘭の春」が好評を博し23年度の誘客の起爆剤とするともに、県観光の中核施設の一つとして県内外の評価を高めた。 ・ 研究部門では、2年連続で科学研究助成金の対象となる等、「研究型植物園」としての実績評価が認められてきている。一方で、その成果を早期に地域振興に結びつける取り組みを促進することが求められている。 ・ こうした、職員の努力や功績を評価し、職員のモチベーション向上等を図る組織マネジメントも向上しており評価できる。 </div> </div>

【評価の目安】

- A：仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
- B：おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
- C：仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
- D：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの